

【令和7年度林業技術センター研究成果発表会】アンケート内のご意見・ご質問等の回答

No	アンケート内容	ご意見・ご質問等の内容	回答	
1	講演・パネリストへのご意見・ご質問、あるいは今後、聞いてみたい講演内容があれば、記入してください。	全体的に声が小さく聞こえにくかった。（会場参加者）	次年度以降の開催の際にはより音が大きくなるよう工夫してまいります。	
2		木の新しい使い方を見つけることができました。少し抽象的な所があり、詳しく説明してほしいものがあつた。	具体的なご相談がございましたら、当センター技術支援部までご連絡ください。	
3		パネルディスカッションについて、きちんとファシリテータをおいて、テーマに沿った内容で話を深めた方がよかつたように感じた。	パネルディスカッションは当センターとしても初の試みであり、至らない点があつたかと思ひます。次年度以降に同様の形式で開催する場合は、より議論が深まるよう工夫してまいります。	
4		パネリスト同士の意見交換がもう少し欲しかった	パネルディスカッションは当センターとしても初の試みであり、至らない点があつたかと思ひます。次年度以降に同様の形式で開催する場合は、より議論が深まるよう工夫してまいります。	
5	研究成果の発表へのご意見があれば、記入してください。	目標値を先に定めて、それを達成する条件を示してほしい。 （例：挿し木のミス装置については、得苗率％（発根数など）を得るために、どのようにするべきかなど）	挿し木ミスのポスターは開発中の技術の紹介でした。良い成果が得られれば、次年度以降にご指摘の点を踏まえた結果報告をさせていただきます。	
6		実用化を意識した技術開発を望む	引き続き、県内の中小企業や農林水産業者のニーズに基づく支援を進めてまいります。	
7		発表はいい話でした。最近、スギヒノキコウヨウザンなどの針葉樹の人工林の育成や材の活用方法を主として研究等を進められていましたが、今後は広葉樹関係の研究を中心に行われるのでしょうか。確かに広島県は昔からマツザツの山が大部分を占めていると思ひますので、地域の状況にあつたものだと思ひますが、ちょっと手のひら返しっぽひ感じがします。その昔、これからは人工林中心と言つていたのには思ひます。	人工林の研究から広葉樹の活用について舵を切るわけではなく、どちらも並行して取組んでいきます。ご指摘のとおり、これまでには広葉樹よりも針葉樹人工林の育成から活用に向けた研究がメインではありませんでした。引き続き研究を進める一方で、広葉樹材の利活用を通じた里山林の再生に向け、様々な視点から研究を進めてまいりたいと思ひております。	
8		広葉樹の活用がより生かされたいと思つた。民間で活用されていない木、山が多いと思ふので、民間への分かりやすい声かけも必要・重要だと思ひました。	事業課と一体となり、県民の皆さまへ情報発信を進めてまいります。	
9		「リモートセンシングで里山林の資源を把握できるか」の発表についてスギとヒノキ以外の雑木林を「里山林」として定義したのは何か意味があつたのか疑問に思ひました。調査対象地が里山として長年人の手が加えられてきた地域なのか、それとも単に広義の意味として里山林としたのか、なのかなと思ひました。	広義の意味としての里山林です。里山広葉樹林の有効利用を目的とした技術開発に関連した発表ですが、広島県中南部ではアカマツが広葉樹と混在する雑木林となっているため、「里山林」としました。	
10		点群データの活用方法を確立してください。	引き続き、研究に努めてまいります。	
11		材の切り出しのための搬出路計画を立てるのに利用できないか。	当センターがオープンデータとして提供している「森林管理基盤情報」の標高図やCS立体図を用いて計画を立てることが可能と思ひれます。当センターのホームページに森林管理基盤情報について掲載しておりますので、ご確認いただき、申請の際には技術支援部までご連絡ください。	
12		CLT乾燥機に興味がある。補助金等があれば良い	現状、補助金等の情報はございません。	
13		CLT乾燥機について、どのくらいの規模まで実現可能なのか。1台運用するにあたり、通常の乾燥機と比べてコスト含めメリットデメリットを知りたい。	当センターのものは4m材を乾燥できるように設計しておりますが、用途に応じて変更可能かと思ひます。コストとしては温水を使ったシステムなのでボイラーの燃料代（薪代）がかかります。使用される方はおそらく薪を自分で用意できる環境の方が多いと思ふので、その費用はそれほどかからないかもしれせん。デメリットとしては燃料投入が手動なので1～2時間に一回燃料を投入する作業の労力があつます。	
14		広葉樹の乾燥について、CLT躯体の温水式乾燥機を使用しておられました。今後、より一般的な蒸気式木材乾燥機を使用して試験を行われるご予定はありますか。	当センターには蒸気式乾燥機がないため、それを使った研究の予定はありません。	
15		新しい情報を知りたいがネットでは見れないか	当センターの「ひろしまの林業」の記事ページに詳しい説明があります。	
16		その他、林業技術センターに対してのご意見・ご感想や、次回以降の要望等がありましたらご記入ください。	平成23年度に、林業研究会が行つた「山仕事講座」のような林業の基礎を受講したいです。	当センターで技術講習を行う予定はないのですが、林業就業者向けの「緑の雇用」研修もありますので、広島県森林組合連合会にお問い合わせください。この他に林業への就労相談窓口としては（一財）広島県森林整備・農業振興財団内に広島県林業労働力確保支援センターがあります。
17		広葉樹の活用は多様な主体と連携しないと進まないで、行政事業課と定期的に意見交換の機会を設けてほしい	事業課との連携は大歓迎です。お声掛けください。	

No	アンケート内容	ご意見・ご質問等の内容	回答
18	その他、林業技術センターに対してのご意見・ご感想や、次回以降の要望等がありましたらご記入ください。	今回遠方ということもありweb参加とさせていただきます。もし可能であれば、発表時の資料をメール等で事前共有していただけるとありがたいと思います。本日はどうもありがとうございました。	資料につきましては、成果発表会終了後に、公開可能な範囲で当センターのホームページへ公開しております。事前共有につきましては、次年度の開催までに検討します。
19		更新されたレーザ航測データが提供可能となりましたらよろしく申し上げます。	提供可能な情報が出来ればセンターホームページにて案内させていただきます。
20		広葉樹が本格的にテーマになってくるんですかね。がんばってください。	人工林の研究から広葉樹の活用について舵を切るわけではなく、どちらも並行して取組んでいきます。針葉樹人工林の育成から活用に向けた研究も進める一方で、広葉樹材の利活用を通じた里山林の再生に向け、様々な視点から研究を進めてまいりたいと考えております。